

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和4年第21週の発生動向

トピックス

重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

(全数報告の感染症) の報告が宮崎市保健所管内からあった。患者は60歳代の女性で、ダニの刺し口があった。県内での報告は、累計92例となった。

県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	3	21	37	22	5

・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が2,466例あり、2022年の累積報告数は46,365例となった。



全数報告の感染症 (21週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核2例。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症1例。
- 4類感染症：重症熱性血小板減少症候群1例。
- 5類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症1例、梅毒2例、破傷風1例。

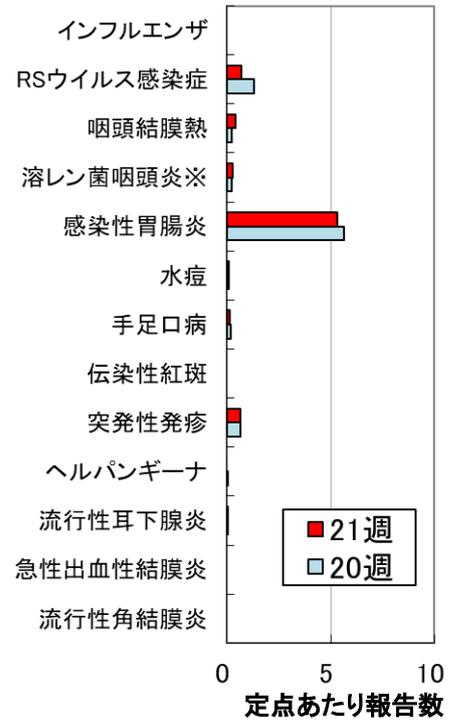
	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	男	皮膚結核	右背部腫瘍
			80歳代	女	無症状病原体保有者	なし
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	0~4歳	女	—	血便、嘔吐、O157(VT2)
4類	重症熱性血小板減少症候群	宮崎市	60歳代	女	—	発熱、神経症状、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、リンパ節腫脹、出血傾向、刺し口
5類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	延岡	60歳代	女	—	敗血症
	梅毒	宮崎市	20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性パラ疹
		都城	10歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結、丘疹性梅毒疹
破傷風	延岡	80歳代	女	—	筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害、強直性痙攣	

新型コロナウイルス感染症 (21週に新たに届出のあったもの)

○新型コロナウイルス感染症 2,466例：保健所、年齢別報告数及び主な症状は表のとおりであった。

居住地保健所	報告数	年齢群											症状
		10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	
宮崎市	1,037例	168	261	106	156	170	67	42	33	18	15	1	発熱、咳、頭痛、全身倦怠感、咽頭痛等
都城	528例	137	97	45	87	69	34	19	26	8	6	—	
延岡	239例	41	52	20	29	32	25	22	10	4	4	—	
日南	136例	30	14	13	24	11	10	10	4	11	8	1	
小林	128例	35	18	5	20	13	3	12	9	8	5	—	
高鍋	193例	25	54	15	21	26	14	11	11	7	8	1	
高千穂	6例	—	2	—	—	1	1	1	1	—	—	—	
日向	131例	29	19	13	18	24	3	12	13	—	—	—	
中央	58例	12	8	2	13	9	2	6	3	3	—	—	
県外	10例	3	1	—	4	—	—	1	1	—	—	—	

《前週との比較》



□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は278人(定点当たり7.7)で、前週比91%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【咽頭結膜熱】

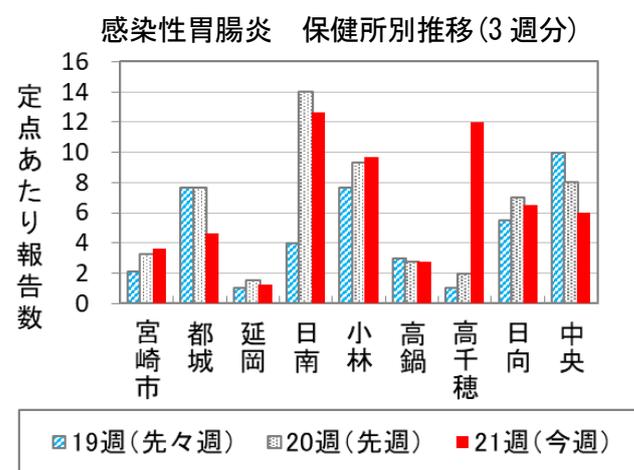
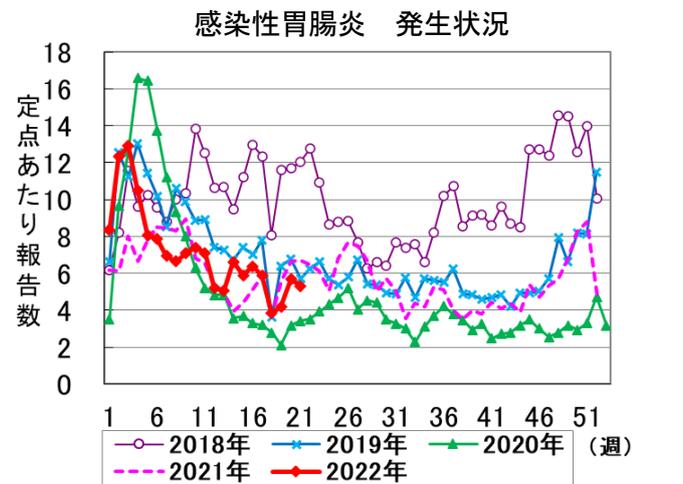
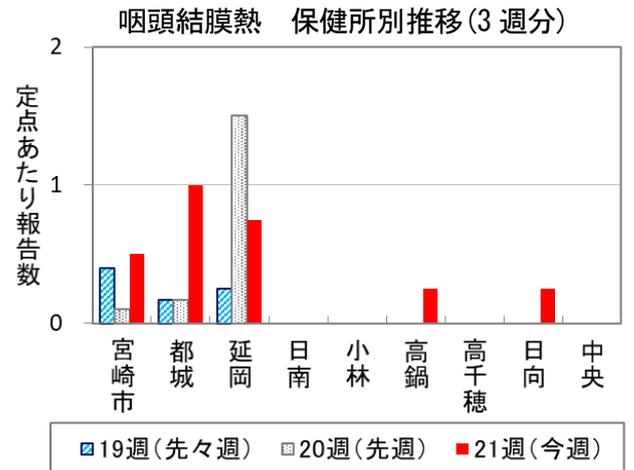
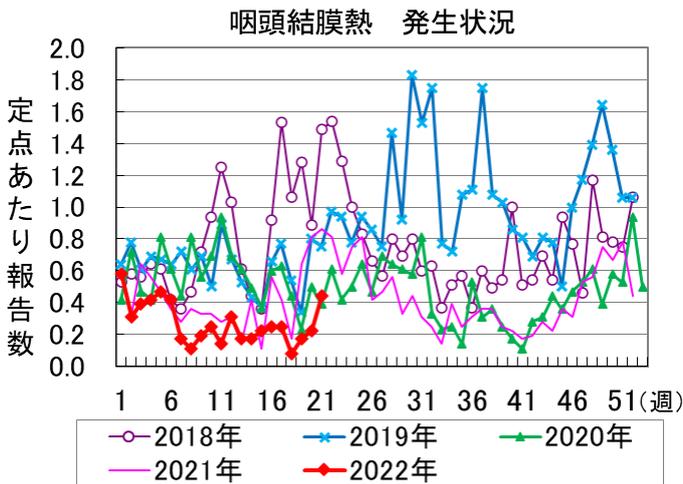
報告数は16人(0.44)で、前週比200%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.87)の約0.5倍であった。都城(1.0)、延岡(0.75)、宮崎市(0.50)保健所からの報告が多く、年齢群別は6ヵ月から2歳が全体の約8割を占めた。

【感染性胃腸炎】

報告数は191人(5.3)で、前週比94%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(7.4)の約0.7倍であった。日南(12.7)、高千穂(12.0)、小林(9.7)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から3歳が全体の約半数を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★ なし

✚ 全国 2022 年第 20 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	246 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	76 例	腸チフス	2 例		
4類感染症	E型肝炎	8 例	A型肝炎	4 例	重症熱性血小板減少症候群	5 例
	つつが虫病	9 例	デング熱	2 例	日本紅斑熱	12 例
	類鼻疽	1 例	レジオネラ症	38 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	4 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	12 例
	急性弛緩性麻痺	2 例	急性脳炎	2 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7 例	後天性免疫不全症候群	8 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	16 例	水痘（入院例）	5 例
	梅毒	152 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	7 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 118%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症、手足口病及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患は水痘であった。

RSウイルス感染症の報告数は536人(0.17)で前週比189%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.51)の約0.3倍であった。宮崎県(1.3)、岐阜県(0.96)、福井県(0.52)からの報告が多く、年齢群別では6ヵ月から3歳が全体の約9割を占めた。

手足口病の報告数は582人(0.19)で前週比158%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.51)の約0.4倍であった。沖縄県(5.0)、福井県(2.5)、鹿児島県(1.0)からの報告が多く、年齢群別では6ヵ月から2歳が全体の約8割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2022年 第21週(05月23日～05月29日)

疾病名	第20週	第21週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	48	26	5		16		1		4	
	定点当り	1.33	0.72	0.50	0.00	4.00	0.00	0.25	0.00	1.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	8	16	5	6	3		1		1	
	定点当り	0.22	0.44	0.50	1.00	0.75	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	8	11	1	1		9				
	定点当り	0.22	0.31	0.10	0.17	0.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	204	191	36	28	5	38	29	11	12	26
	定点当り	5.67	5.31	3.60	4.67	1.25	12.67	9.67	2.75	12.00	6.50
水痘	報告数	4	3	2			1				
	定点当り	0.11	0.08	0.20	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	7	6		3		1		1	1	
	定点当り	0.19	0.17	0.00	0.50	0.00	0.33	0.00	0.25	0.00	0.25
伝染性紅斑	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	23	24	4	8	3	1	4	3		1
	定点当り	0.64	0.67	0.40	1.33	0.75	0.33	1.33	0.75	0.00	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	1									
	定点当り	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	1								1
	定点当り	0.03	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
細菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2022年 第1週～21週)

2類感染症	結核	44例(2)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	3例(1)		
4類感染症	E型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	5例(1)
	レジオネラ症	1例		つつが虫病
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	2例
	水痘(入院例)	2例	梅毒	27例(2)
	破傷風	2例(1)	百日咳	8例
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	46365例(2466)		

()内は今週届出分、再掲